

# 取扱説明書

サイレンサ

BN-26T01シリーズ

## 安全にご使用いただくために

ご使用いただく上で間違った取扱いを行いますと、商品の性能が十分達成できなかつたり、大きな事故につながる場合があります。




事故発生がないようにするためにも必ず取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解の上、正しくお使いください。

尚、不明な点がございましたら、弊社へお問い合わせください。

○日本精器株式会社

## 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、ISO 4414 ※1)、JIS B 8370※2) およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

 <b>危険</b>	切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
 <b>警告</b>	取り扱いを誤ったときに、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤ったときに、人が傷害を負う危険性が想定されるとき、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

※1) ISO 4414 : Pneumatic fluid power Recommendations for the application of equipment to transmission control systems

※2) JIS B 8370 : 空気圧システム通則



●空気圧機器の適合性の決定は、空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。

●十分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。

圧縮空気は取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組み立てや操作、メンテナンスなどは、十分な知識と経験を持った人が行ってください。

安全を確認するまでは、機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止や暴走防止などがなされていることを確認してから行ってください。

- (1) 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止や暴走防止などがなされていることを確認してから行ってください。
- (2) 機器を取り外す時は、上述の安全処置が施されていることを確認し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。
- (3) 機械・装置の再起動を行う場合は、飛び出し防止の処置を確認してから行ってください。

●仕様に適合した環境でご使用ください。

本製品は、一般産業機械用装置・部品での使用を適応範囲としております。原子力・鉄道・航空・車両・医療機器・飲料や食料に触れる機器・娯楽機器・緊急遮断・装置・プレス用安全装置・ブレーキ回路・安全機器など人や財産に大きな影響を与えることが予想され、特に安全が要求される用途や屋外で使用される場合は、適応外とさせて頂いております。(ただし、当社にご相談いただき、当社製品の仕様をご了解いただいた場合は適用となりますが、万一故障があっても危険を回避する安全対策を講じてください。)

## 使用上の注意事項

### 警告

- ・圧縮空気以外の流体では使用しないでください。
- ・取付場所は、直射日光や腐食性ガス・有機溶剤の雰囲気での使用は避けてください。
- ・使用圧力は、1.0 MPa以下で使用してください。
- ・5°Cより低温での使用は避けてください。
- ・振動や衝撃のあるような場所での使用は避けてください。

### 注意

- ・サイレンサの周囲には取付、取り外しのためのスペースを確保してください。
- ・ゴミ、粘性大の油を多く含んだ空気、水滴を含んだ空気で使用しないでください。短時間で目詰まりを起こす原因となります。

#### ●取付上の注意

### 注意

- ・本体の六角部をつかんでねじ込んでください。
- ・焼結部分をベンチやパイプレンチなどではさんでねじ込まないでください。

#### ●配管時の注意

### 注意

- ・配管する前には、配管内を十分フラッシングして配管内のゴミ等を除去してください。
- ・配管ねじの切粉やごみが管や空気圧機器の中に入らないよう注意してください。
- ・締め付けトルク範囲内で適正に締め付けてください。

接続ねじ	適正締め付トルク N・m	接続ねじ	適正締め付トルク N・m
M5	1.5~2.0	R1/2	28~30
R1/8	7~9	R3/4	28~30
R1/4	12~14	R1	36~38
R3/8	22~24		

## 保守に関する注意事項

### 警告

- ・製品の交換は、残圧がないことを確認してから行ってください。
- ・アクチュエータ等の作動状況は、1日に1回は必ず確認してください。目詰まりした状態での使用は、破損する恐れがあります。